

## 鎌倉市市民活動センター指定管理者 自己評価シート兼実績評価シート

施設名	鎌倉市市民活動センター(鎌倉・大船)
所在地	鎌倉センター: 鎌倉市御成町18-10 大船センター: 鎌倉市台1-2-25
指定管理者	名称: 特定非営利活動法人鎌倉市市民活動センター運営会議 代表者: 石川 勝己 住所: 鎌倉市腰越五丁目16-12
担当課	市民防災部地域のつながり課
指定管理期間	平成31年4月1日 ~令和4年3月31日
評価対象期間	令和3年1月1日~令和3年3月31日

評価内容				
評価項目 番号	指定管理者自己評価		担当課による評価	
	評価	根拠	評価	根拠
1	B	緊急事態宣言を受け、感染拡大防止のため施設利用人数を平常時の50%に制限、会議室や受付の机上に仕切り板を設置するなどの対策を講じた。 会議室を予約なしで使えるフリースペース化については登録団体へのヒアリングをもとに来期からの運用準備を進めている。	A	民間と連携し、市民活動団体の発表の場として展示会を実施した。場所貸しとしてだけでなく、民間と団体の協働による発表の場としてコーディネートを行っており、活動の場の新たな形として実施できたことから「A」評価とする。今後も、ミーティング可能な地域のカフェ等の情報収集や新たな連携先の確保など、新たな活動の場の確保に向けた積極的な取り組みを期待している。
2	B	印刷代行業務の受託については、印刷の仕上がりを見て修正をしたい、という要望が強く、データ入稿を前提とする代行受託は難しいと判断した。	B	支障なく印刷機等の利用受付業務を行っている。団体のセルフ操作能力向上ミニ研修がコロナ禍によるメーカー側との調整で実施できていないが、利用者の利便性向上のため工夫・検討していただきたい。

3	A	<p>懇話会での団体情報収集を狙ったが、緊急事態宣言の延長で第3四半期の開催を断念した。</p> <p>登録団体情報の更新とデータベース化を進めた。3月末までに約 77% (298/384 団体)の更新情報を回収、情報を多角的に活用するため Excel のフォーマットへの入力が進んでおり、来期からの運用準備が整った。</p>	B	<p>登録団体情報のデータベース化については、今期の成果として、評価の指標の「A」評価における「特筆すべき成果」に値する具体的な運用を行っていないため、「B」評価とする。来年度は、その活用方法等を事業計画の中に具体的に落とし込んでいただきたい。相談記録は Dropbox により共有化が図られているが、団体情報の把握・分析や一般相談 QA 情報としての蓄積など、入力した情報を有効に活用できるよう、記録内容の見直しや整理を行っていただきたい。</p>
4	B	<p>コロナ禍に対応した持続化給付金、企業助成金制度などの情報をインターネットや他の中間支援施設との連携ネットワークにより継続的に収集した。</p> <p>また、センター内での情報共有として、Dropbox を使った日報および相談情報の記録、管理を開始し、運用が軌道に乗った。</p>	B	<p>市民活動団体にとって有益な情報の収集及び整理を支障なく行っている。</p>
5	B	<p>広報紙パートナーズの発行、鎌倉 FM、タウンニュースでの団体活動紹介を定期的、継続的に行った。ホームページのトップページを改訂して更新情報を見やすくした。</p> <p>フェイスブックページのスタッフ編集者を増やし、発信頻度を上げた。</p>	B	<p>計画通りパートナーズの発行を行った。以前からの指摘事項であった HP の更新情報の表示の改定を行い、新着情報の確認がしやすくなった。Facebook の発信頻度も上がり、講座情報や団体の活動情報などを発信している。今後は、登録団体情報のデータベースを活用し、内容の充実、発信情報や相手に応じた発信ツールの使い分けなど、効果的な発信方法を検討していただきたい。</p>

6	A	<p>「市民活動經理のキホン」「フェイスブックページの活用」「ファンドレイジング」の講座を登録団体向けに企画実施し、団体の活動にとって有用な知識・技術習得の機会を提供できた。各講座に対する参加者の評価も非常に高かった。</p>	B	<p>計画していた各講座を実施した。「Facebook ページの活用講座」については、「大変役に立った」と及び「役に立った」と回答した割合は約 56%であり、評価が非常に高いとはいえない。また、12 人の参加者のうち8人が運営会議の会員又は理事であり、HP 上では早期の段階で「定員に達したため受付終了」となっていた。多くの団体が参加できるような周知及び学習機会の提供に努めること。</p> <p>その他の講座については、一定の評価を得られているが、上記講座の評価も踏まえ、評価指標「B」の「研修の対象が明確に絞られ、現状に合った企画を年間予定に従って実施した」範囲内であり、評価の指標の「A」評価における「B の基準を満たした上での特筆すべき成果」に値する成果とは認められないため「B」評価とする。</p>
7	A	<p>MUJIcom ホテルメトロポリタン鎌倉の店頭スペースを団体活動の発表の場として借用、「いろんなカタチ」展を開催できた。今後もこのスペースの利用を積極的に提案し、団体が活用できるようにする。</p> <p>鎌倉観光協会、社会福祉協議会と共催で、登録団体に呼びかけ、駅周辺の清掃活動を行った。</p> <p>市民活動への参画を促す転入者向けパンフレットを完成させ、配布を開始した。</p>	A	<p>市民活動参加促進のパンフレットを作成し、転入者向けに配布を開始した。また、市民活動の場の確保と連動し、民間と団体の協働による発表の場のコーディネートを行った。一般来場者も多く、市民活動に触れる機会として有効な場を創出したため、「A」評価とする。引き続き様々な媒体を活用し、市民活動へ興味を持ち、参加のきっかけとなるような情報の発信を進めていただきたい。</p>

8	A	<p>学生による地域活動のポータルサイト「ヨリドモ」の発足・活動を支援、資金調達や団体広報に関するアドバイスを行っている。</p> <p>神奈川県との協働による「企業・NPO・大学パートナーシップミーティング」を企画、開催した。多様なセクターから参加があり、セクター同士の交流・連携の機会提供に貢献できた。</p>	A	<p>項目番号 1・7 でも評価しているように、活動の場の提供・市民活動の情報発信の取り組みとして、民間と市民活動団体との協働による展示会のコーディネートを行った。それぞれの特性を生かした協働の取り組みであり、「A」評価とする。今後の展開も期待している。パートナーシップミーティングでは、大学・企業・学生団体とNPO や地域との交流の機会創出を行った。</p>
9	B	<p>一般相談では、相談内容の記録・データ化を進めており、スタッフ間での情報共有がスムーズになった。</p> <p>個人ボランティア登録制度の来期運用に向けた準備を進めている。</p> <p>専門相談では、士業資格のある専門家とのミーティングを行い、来期に向けて相談の範囲や相談フローの確認など相談態勢の準備をおこなった。</p>	C	<p>専門相談の実施は令和元年度からの指摘事項であり、今年度計画していた試験運用に至らず実施できなかったため「C」評価とする。来年度は、今年度の積み残しである試験運用含め、早期に制度の運用ができるように計画的に進めること。</p> <p>一般的相談の QA 作成については、日頃の相談記録等からもフィードバックを行って情報を蓄積し、スタッフの相談スキル向上につなげていただきたい。</p>
10	B	<p>来期以降の協働事業促進の一環として、地域のつながり課と協働で団体の組織基盤強化(ミッションの構築やファンドレイジング)に関する講座を開催した。協働事業の理解を促進するための市職員研修に関して、地域のつながり課と意見交換を行なった。</p>	B	<p>当課との協働によるファンドレイジング講座では、団体自身の活動をどう伝えていくかについての内容も盛り込み、今年度計画していた「団体の提案力向上」の取り組みの一環として実施した。</p>

11	B	Zoom 会議の活用講座、フェイスブックページの活用講座にスタッフが参加し、団体のニーズに対応できるような知識・技術の習得を図った。	B	SNS 講座にスタッフが参加し、Facebook の発信頻度が向上した。 電子化した相談記録は分析・整理を行い、一般相談業務 QA の作成及び充実を図っていただきたい。
12	B	利用状況の入力フォーマットを運用することで、ペーパーレス化と集計業務の効率化が進んだ。	C	各種報告書について、提出期限を守り、正確な書類を提出すること。また、実地調査票「施設管理(12)」の項目で指摘した通り、時間外使用書が提出されていないにも関わらず、月次報告の「利用団体詳細」で会議室の利用に記載があり、届出と月次報告の不一致が発生している。適正な管理運営を徹底すること。
総合評価				
担当課による 総合評価※	B	総評	<ul style="list-style-type: none"> <li>●今年度実施できなかった事業等については、来年度計画的に実施してください。</li> <li>●各種報告や届出に関する業務を正確かつ適切に行ってください。</li> </ul>	

※C=1、B=2、A=3とし、平均点により算出する。C: 1 以上 1.7 未満 B: 1.7 以上 2.4 未満 A: 2.4 以上 3 以下

## 評価の指標

※評価点の基準を満たすことが客観的に判断できる資料等をできる限り提示すること。

例1: 番号1 A評価「オンライン予約を可能にした。」の場合→客観的に判断できる資料として、「オンライン予約ページ」を提示する。・・・等。

B評価、C評価→利用者集計表を提示。・・・等。

例2: 番号3 A評価「既存の市民活動団体の情報について、一斉に各団体に確認作業を行い最新にした。」の場合→「各団体への通知文及び更新前後の団体情報一覧」を提示する。・・・等。

B評価、C評価→登録団体一覧表(ダイレクトリ)を提示。・・・等。

番号	評価項目	評価点の基準
1	ミーティングスペース、作業スペースなどの空間と機能の提供に関すること。	<p>A: Bの基準を満たし、更に業務改善により、利用者の便宜が向上した、又は業務の効率性が向上した等の特筆すべき成果があった。</p> <p>B: 支障なく業務を遂行した。又は、問題が発生したが、適切に対処し施設運営に大きな影響がなかった。</p> <p>C: 問題が発生し、施設運営に影響があった。</p>
2	コピー機、簡易印刷機などの機材の利用受付に関すること。	<p>A: Bの基準を満たし、更に業務改善により、利用者の便宜が向上した、又は業務の効率性が向上した等の特筆すべき成果があった。</p> <p>B: 支障なく業務を遂行した。又は、問題が発生したが、対処し施設運営に大きな影響がなかった。</p> <p>C: 問題が発生し、施設運営に影響があった。</p>
3	市民活動団体の団体情報の収集に関すること。	<p>A: Bの基準を満たし、更に業務改善により、利用者の便宜が向上した、又は業務の効率性が向上した等の特筆すべき成果があった。</p> <p>B: アウトリーチ等による十分な情報の収集を行い、スタッフ間で情報の共有、整理・分析がなされ、支障なく業務を遂行した。</p> <p>C: 十分な情報の収集、共有、整理・分析が行えなかった。</p>

4	市民活動団体の活動にとって有用な情報の収集に関すること。	<p>A: Bの基準を満たし、更に業務改善により、利用者の便宜が向上した、又は業務の効率性が向上した等の特筆すべき成果があった。</p> <p>B: アウトリーチ等による十分な情報の収集を行い、スタッフ間で情報の共有、整理・分析がなされ、支障なく業務を遂行した。</p> <p>C: 十分な情報の収集、共有、整理・分析が行えなかった。</p>
5	情報誌やインターネット、SNS等を活用した3、4等の情報の提供に関すること。	<p>A: Bの基準を満たし、更に業務改善により、利用者の便宜が向上した、又は業務の効率性が向上した等の特筆すべき成果があった。</p> <p>B: パートナズの発行(発行のタイミングであった場合のみ)、地下道ギャラリー等(展示のタイミングであった場合のみ)、ホームページ、SNSにより、利用者にとって有用な情報を効果的に提供した。</p> <p>C: Bの基準を満たさなかった。</p>
6	市民活動団体の活動にとって有用な知識・技術を習得するための、学習や研修の機会の提供に関すること。	<p>A: Bの基準を満たし、更に業務改善により、利用者の便宜が向上した、又は業務の効率性が向上した等の特筆すべき成果があった。</p> <p>B: 研修対象者が明確であり、事業計画に従って市民活動の参考になる学習や研修の機会の提供、又は企画を行い、参加者から一定の評価が得られた。</p> <p>C: Bの基準を満たさなかった。</p>
7	市民活動への参加希望者への情報提供や、市民活動への参加の機会の提供に関すること。	<p>A: Bの基準を満たし、更に業務改善により、利用者の便宜が向上した、又は業務の効率性が向上した等の特筆すべき成果があった。</p> <p>B: 市民活動団体の活動情報(イベント等)の効果的かつ的確な発信による情報提供、市内の学校や近隣大学と連携した若年層のボランティア活動支援、市民活動フェスティバル(開催のタイミングであった場合)の活用等により、市民活動への参加の機会を創出した。</p> <p>C: Bの基準を満たさなかった。</p>

8	市民活動団体が、各種団体(市民活動団体や自治・町内会、企業等)と交流及び連携する機会の提供に関すること。	<p>A: Bの基準を満たし、更に業務改善により、利用者の便宜が向上した、又は業務の効率性が向上した等の特筆すべき成果があった。</p> <p>B: 日々の相談業務に係るコーディネート、事業計画に沿った懇話会の開催、市民活動フェスティバル(開催のタイミングであった場合)の活用等により、各種団体と連携、交流する機会を提供した。</p> <p>C: Bの基準を満たさなかった。</p>
9	市民活動に関する相談に関すること。	<p>A: Bの基準を満たし、更に業務改善により、利用者の便宜が向上した、又は業務の効率性が向上した等の特筆すべき成果があった。</p> <p>B: 電話・窓口相談を適切に記録し、スタッフ間で共有するとともに、相談事例の整理・分析や専門家相談の実施により、相談業務の充実を図った。また、相談業務に係る研修を実施し、スタッフのスキル向上を図った(実施のタイミングであった場合)。</p> <p>C: Bの基準を満たさなかった。</p>
10	市民活動団体と市の相互提案協働事業及び協働事業全般の促進に関すること。	<p>A: Bの基準を満たし、更に業務改善により、利用者の便宜が向上した、又は業務の効率性が向上した等の特筆すべき成果があった。</p> <p>B: 協働事業提案に係る講座の開催や事前相談の充実等、協働事業の促進に寄与する事業を行った。</p> <p>C: Bの基準を満たさなかった。</p>
11	その他(スタッフのレベルアップのための研修、学習会を開催した。)	<p>A: Bの基準を満たし、更に業務改善により、利用者の便宜が向上した、又は業務の効率性が向上した等の特筆すべき成果があった。</p> <p>B: 事業計画に沿って研修等を開催した。また、研修等を通じてスタッフのレベルアップが図られた。</p> <p>C: Bの基準を満たさなかった。</p>
12	その他	<p>A: その他、業務改善に努め、特筆すべき効果があった。</p> <p>B: 前四半期と同等の水準のサービスを提供した。</p> <p>C: Bの基準に満たなかった。</p>